

60Sの新トピック

1

IP防水性能

60Sは雨のように降りかかる水に耐えられるのはもちろん、水深1mに30分水没しても動作するIPX7という防水保護等級に対応。雨でも安心して使える

2

マウントキットが二つ同梱 (フルフェイス&ジェット用)

フルフェイスヘルメット用のマイクと、ジェットヘルメット用のブームマイクの2種類のクランプキットを同梱。本体を付け替えるだけでとても便利

3

フェイスプレート付き

フェイスプレートは交換式。「スモーククローム」「シルバーストーン」「アルパインホワイト」「ピアノブラック」という4種類のプレートを同梱している

4

バッテリーの持ち大幅向上

メッシュ通話 16時間 (5時間アップ)	Bluetooth通話 22時間 (10時間アップ)
----------------------------	----------------------------------

バッテリー容量が大きく、通話時間は50S比で約1.5倍に。一方、充電時間は2/3に短縮され、クイック充電で通話できる時間が1.5倍以上となっている

5

クランプユニット形状が 変更されスリムに

60Sはクランプユニットを介してヘルメットに装着する。本体とクランプはマグネットで固定されるため、クランプユニットがとてもスリムになっている

6

通話音量が 均一化されるようになった

電話やメッシュ・Bluetoothの各インターコム通話の音量を均一化。安定して相手の声が聞けるようになった

7

ノイズ削減、 音声認識能力アップ

AIが背景の音だけを検出して低減するAINR（適応型ノイズ制御）や、さらにAIで認識力を高めた音声コマンド機能など、新たにAIの技術を導入している

8

OTAでアプリで 自動アップデート

BluetoothやWi-Fiだけでなく、スマートフォン経由でもファームウェアのアップデートが可能。OTA（Over The Air update）機能を搭載。選択肢が広がったことで、気軽にアップデートができる



Wave アプリって?

簡単にいうと……

LINE通話のようなモノ ※VoIPという技術

全インカム対応、距離が無制限に!

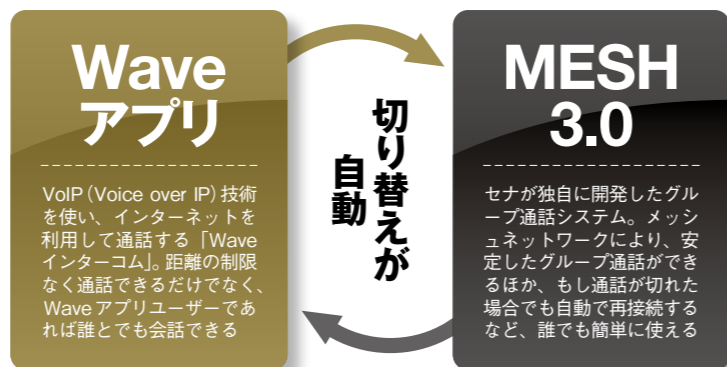
ネットを介して会話するため、Waveアプリの起動しているメンバーのスマホがインターネットに接続している限り、どこにいてもどんな機種でもバイクインカムで会話ができる

再接続が自動

通信環境が悪くなってWaveインターコム、メッシュ・インターコムのどちらかの接続が切れても、もう一方がバックアップするように自動的に再接続。途切れなく通話ができる

スマホ側の操作不要

LINEをはじめ一般的なメッセージングアプリの場合、会話をはじめとした操作は当然スマホアプリの画面操作が必要。Waveアプリなら60S本体でアプリを操作することができる



イムで地図上に表示したり、地図上に表示された2 km圏内のライダーに素早く接続が可能。また、音声通話だけでなく、チャット機能で文字や画像を共有もできるほか、フレンドリストの管理やQRコードで連絡先を追加したりすることもできる。さらに、仲間緊急事態を知らせる SOS 機能もある。

また60Sは近年、急速に進歩しているAI（人工知能）を導入。AINR（人工知能ノイズリダクション）機能は、ライダーの声だけを拾って周囲のノイズを的確に除去。ノイズと逆位相の音でノイズを打ち消すANC（アクティブノイズキャンセリング）との組み合わせで、騒音が激しい環境でもクリアな通話ができる。さらに、AI搭載の音声コマンド機能は、日本語を含む9つの言語に対応し、風切り音やノイズのひどい場所でも、しっかりと声を認識してコマンドに回答してくれる。

セナWaveインターコムとAIという、次世代のテクノロジーを搭載した60S。実際に使ってみれば、また新しいインターコム体験を与えてくれるに違いない。



インカム、新たなステージへ!

Waveアプリと SENA MESH 3.0で どこでも誰でも繋がる

ハード面でこれまでのセナ・インターコムとは一線を画すデザインを採用した「60S」

しかし、その進化はソフトウェア面のほうが大きい。それが「Waveアプリ」だ

専用スマートフォンアプリとの組み合わせで、“通話距離”という概念がなくなった!

文/八百山ゆーすけ

問:セナBluetoothージャパン <https://senablueooth.jp>

新しい
通話方法

Waveアプリ & SENAMESH 3.0

60S

価格:6万4680円

(シングルパック)

11万9680円

(デュアルパック)



インターネットとAIを
駆使した新感覚の通話体験

この冬、セナが日本市場に投入する次世代のインターコム「60S」。ハードウェア面の進化は前号でお伝えしたが、60Sの最大の進化はソフトウェア面にあるといってもいい。それは、これまでのメッシュ・インターコムに加えて、新たに「Waveインターコム」を採用したことだ。

このWaveインターコムは、専用のWaveアプリをインストールしたスマートフォンとバイクインカムをペアリングすることで、ネット経由のインカム通話を可能にするというもの。自分と相手のWaveアプリがネットに接続されていれば、お互いの距離も機種も関係なく通話ができる。

